

様式第7号（第5条関係）

視察結果報告書

東松山市議会議長

齋藤 雅男 様

会派名 明和会

代表者名 中島 慎一郎

月 日	視 察 地	視 察 内 容
10月11日（金）	岩手県	オガールプロジェクト
	紫波郡紫波町	循環型まちづくり・環境について

## 1. 岩手県紫波郡紫波町

- ・視察者 中島慎一郎、堀越博文、米山真澄、安藤和俊
- ・視察場所 紫波町フットボールセンター
- ・視察日時 令和6年10月11日（金） 午前10時～正午
- ・視察項目 オガールプロジェクト 循環型まちづくり・環境について

### ・視察目的

エネルギーの自立による地域経済の循環を目的に、紫波中央駅前の公共施設等に冷暖房熱を供給する紫波中央駅前エネルギーステーション（事業主体・紫波グリーンエネルギー株式会社）を構築され、再生可能エネルギーの利用を促進するとともに、地域内への普及と再生可能エネルギーへの理解を高めるための事業を視察した。

### ・要旨（報告事項）

#### ・紫波町の概要

1955年（昭和30年）に1町8カ村が合併し誕生した。盛岡都市圏の南部、盛岡市と花巻市の間に位置する。面積238.98km<sup>2</sup>、総人口31,677人（2024年10月1日）、面積の約6割が森林である。国道4号など6本の幹線が町を南北に走り、インターチェンジや3つのJRの駅があり、近年ではオガールプロジェクトをはじめとした「公民連携によるまちづくり」で注目を集めている。

#### ・エネルギーステーション

##### 【事業主体】紫波グリーンエネルギー株式会社

エネルギーステーションは木質チップボイラーを中心とした再生可能エネルギー設備で、役場庁舎・オガールベース・D街区の事業棟・オガールタウン（住宅57戸）へ冷暖房熱の供給を行っている。原料は紫波町内の間伐材・松食い虫被害木等の未利用材であり、個人からの間伐材も約600kg（軽トラック1積載分）を5,000円で買い取っているため、森林整備の促進につながっている。また、オガールタウンでは毎月の給湯・暖房代の支払いに「紫波エコbeeクーポン券」が使用でき、エコbeeクーポン券は紫波町の間伐材を運び出すともらえ、間伐材は木質チップとなり給湯・暖房の燃料になり、「地域循環型のエネルギー利用」の形となっている。

「紫波エコbeeクーポン券」は「間伐材運び隊」等の紫波町の循環型エコ

プロジェクト推進事業に参加してもらう事ができる。

・視察結果、所感

昨今、当市においても所有者の管理しきれていない雑木林が多く見受けられる。こうした地域循環型のエネルギー原料として木材が利用できれば所有者でなくても管理ができ、森林管理につながるのではないかと考える。当市では新たなごみ処理施設の検討を進めているが、今後の課題として紫波町の循環型まちづくりで得た知見を市政に活用させていただきたい。